

経営比較分析表（令和6年度決算）

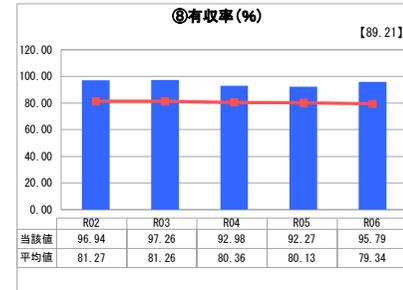
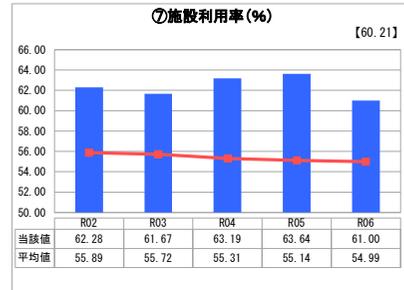
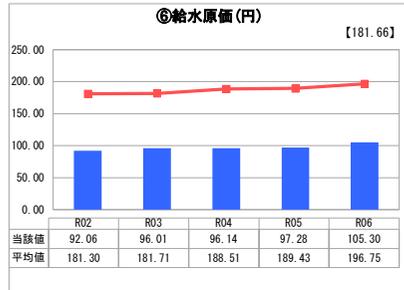
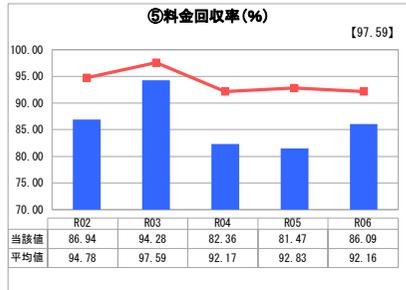
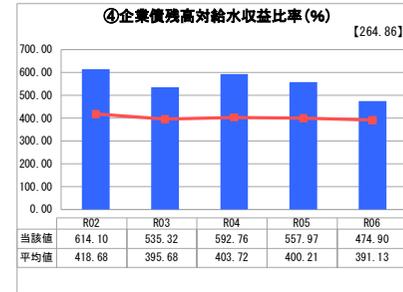
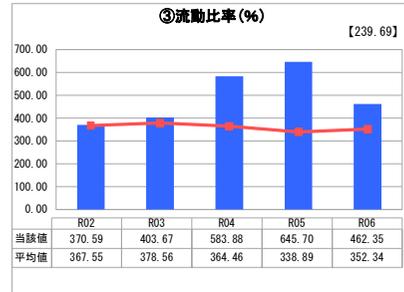
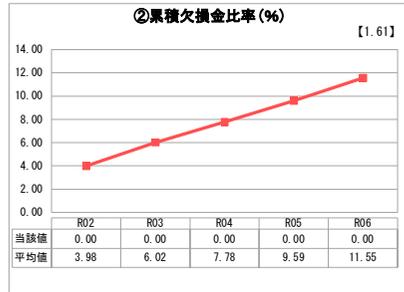
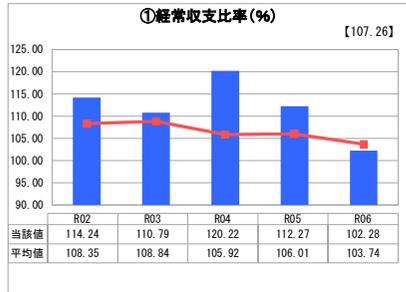
神奈川県 開成町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	72.05	99.92	1,705	

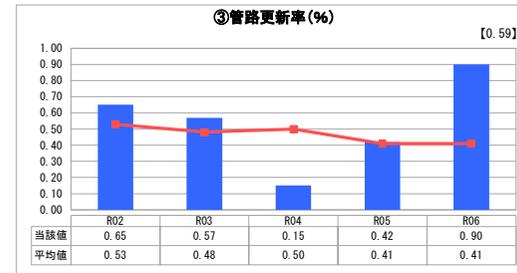
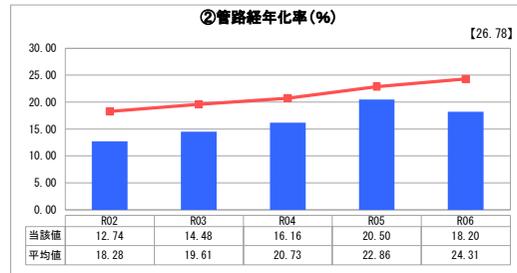
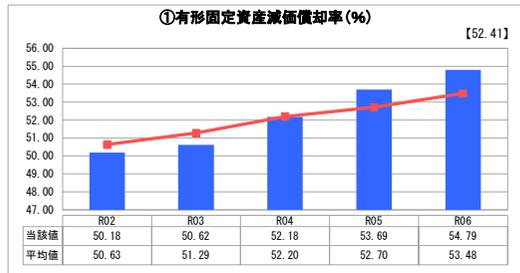
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,566	6.55	2,834.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,537	6.65	2,787.52

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率100%以上、累積欠損比率0%、流動比率100%以上であり、現状においては受託工事収益などの収入も安定しており、総体的な経営状況は良好です。

しかし、企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値と比較すると高い水準になっていることから、企業債の利用制限を継続しています。また、料金回収率については、給水にかかる費用が増えたことにより、いわゆる原価割れが生じ、100%を下回っています。

なお、有収率は類似団体平均値と比較し高い水準となっているため、引き続き効果的に配水できるような対応を図っていきます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管路経年率については、類似団体平均値と比較すると、老朽化度合は高くないと考えられます。管路更新率についても当年度については、高い数値となっています。管路更新需要については未だピークを迎えていませんが、引き続き、安定した配水を行うため、機械装置の適切な更新と合わせ、自然災害等に備えた重要管の耐震を計画的に進めていく必要があります。

全体総括

経常収支比率は比較的高い状態ですが、平成29年度に料金改定を実施してから8年以上が経過し、料金回収率が低い傾向にあることから、適切な料金設定となっているか等、経営状況の把握に努めます。

また、有形固定資産減価償却率が上昇傾向にあるため、老朽化対策等、投資の在り方についても検討が必要です。